

# 令和4年度事業報告書概要（東京港野鳥公園）

指定管理者：東京港野鳥公園グループ

## 1 管理状況

### ○ 適切な管理の履行

#### ・ 便所清掃

お客様から料金をいただく有料施設として、公園に滞在する時間をより快適に過ごしていただくため、トイレの重点清掃を大幅に増加して実施しました。

#### ・ 草刈りほか園地清掃

来園者の利用頻度や植物の育成状況に応じて、年間計画より実施を増やして維持管理をすることで、来園者にいつでも快適に過ごせる場を提供いたしました。

#### ・ 樹木管理

園路の通行上支障があるもの、倒木の危険性のあるもの等、利用者の安全確保や樹木の育成上必要な照度改善のため、剪定等樹木管理を増やして実施しました。

カシノナガキクイムシに侵されたクヌギ・コナラ等について、ボランティアと協働でネットを巻き、他の樹木に被害が及ばないように対応しました。枯れてしまった樹木は伐採し、代替となる樹木を育成すべく周辺に園内実生木を補植しました。

また、開園（平成元年）以来初めて竹に花が咲き、竹林が枯れました。枯れた竹の倒木を防ぐため、合わせて3,600本の竹を伐採し、倒木による危険を未然に防ぎ、利用者の安全を確保しました。



<ナラ枯れ対策>



< 3号観察小屋周辺 >



< 4号観察小屋周辺 >

<竹伐採>

#### ・ サービス充実への取組

窓口においては、最新のお知らせ・当日の行事情報・昨日見られた鳥情報・その他自然情報・マップ等を、デジタルサイネージや掲示板等で情報提供するとともに、利用者に気持ちよくお過ごしいただけるように、常にお客様の視点に立った親切でわかりやすい対応を行いました。

### ○ 安全性の確保

#### ・ 危険な生き物に対する対策

生き物を観察する場でもある公園のため、危険な生き物を確認した場合は、注意喚起看板の設置や立ち入り規制を行い、利用者の観察利用と安全を両立できるよう工夫しました。また、特に危険なスズメバチの巣は迅速に除去し安全安心な利用環境を守りました。

## 2 事業効果

### ○ 事業の取組

- ・ 小学生以下にスタンプカード配付

期間を限定して小学生以下の利用者に対しスタンプカードを配付しました。来園ごとにスタンプを押し、3個たまるとガチャガチャを回すことができ、景品として小鳥フィギュアや野鳥図鑑、公園の木材を加工したオリジナルストラップなどを無料配布しました。大変好評を得て、新規来園者の獲得にもつながりました。



<スタンプカードの配付>

- ・ 虫取り網・虫かごの貸出

小学生以下の利用者を対象に無料で虫取り網・虫かごの貸出を実施したことで、禁止されている生き物（特に昆虫等）の持ち帰りを防ぐことができ、また手ぶらで虫取りが楽しめる親子連れに好評を得ました。

- ・ 野鳥情報の発信

レンジャースタッフが確認した野鳥の種類や撮影した写真を、毎日（休園日除く）ホームページに掲載し発信しました。野鳥情報のほかイベント情報や環境管理作業報告なども掲載し、また、希望する人誰にでもスマートフォンに毎日自動的にブログを配信するサービスも好評を得て、ブログの閲覧数は前年度と比べ大幅に増加しました。



### ○ 利用の状況

新規来園者や公園の愛好者・支援者獲得に向けた各種取組みや、積極的に情報発信を行った結果、令和4年度は、前年度を上回る利用者数となりました。

### ○ 行政目的の達成

- ・ 自転車シェアリング事業への協力

都の施策である自転車シェアリング事業への協力及び利用者のアクセス向上のため、サイクルポートの設置に協力しました。実施にあたり、サイクルポートの設置場所や自転車の搬入経路などを事業者と調整し、また運営においても協力することで、利用者の満足度向上を図りました。

3 収支状況（単位：千円）		
項目		金額（税込）
収入計		128,855
内訳	指定管理料	128,855
	利用料金	0
支出計		127,789
収支差		1,066

※ 単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。